

## 「100の母子と巡ることもの」参加者募集

なつやすみの美術館 14 河野愛「こともの、と」

和歌山県立近代美術館では、あらゆる世代に美術館の楽しみ方を伝える展覧会として、「なつやすみの美術館」展を2011年より開催しています。14回目となる今回は、美術作家の河野愛（かわの あい）をゲストに迎え、「こともの、と」と題しました。「こともの」とは、「異物／異者」と表記される古語で、河野が近年取り組むシリーズです。本展は、河野の「こともの」を起点に、当館コレクションと組み合わせて、さまざまな「こともの／異物／異者」を考える展覧会です。

本展の開催にあたり、河野愛の新作《100の母子と巡ることもの》に参加してくださる方を募集します。

《100の母子と巡ることもの》は、乳児（1歳未満の子）を持つ母子に、河野愛が自身の作品である「真珠が一粒入った箱」をお送りし、参加者である母親が真珠と乳児の写真を撮影するプロジェクトです。

2024年5月末日までに、1歳未満の子の肌のシワやくぼみに真珠を一粒挟み、スマホなどで撮影をし、作家である河野に画像をメールなどで返信していただきます。真珠一粒と箱は、作家からのプレゼントとして差し上げます。

詳しくは、Webサイトをご覧ください。

[https://www.momaw.jp/exhibit/2024\\_summer14/](https://www.momaw.jp/exhibit/2024_summer14/)

